

Uターン就農者による荒廃農地を活用した農業経営と担い手育成

ぎのざそん
〔沖縄県宜野座村〕

新規就農	企業参入	6次産業化	農地中間管理機構
粗放の利用・スマート農業	鳥獣害対策	地域・集落の共同活動	その他

1. 地域農業の状況

○ 宜野座村は、沖縄本島北部に位置し、北東に名護市、北西に恩納村、南に金武町と隣接している。さとうきび、パイナップル、果樹、野菜等が栽培されており農業が盛んな地域である。また生産性の高い安定した経営が行われている。



○ 本件の取り組みが行われた農地は、以前はマンゴーを栽培していたが、耕作者の高齢化に伴う離農により耕作放棄地となっていた。当該認定農業者が利用権設定を行ったことで賃借が可能となり農地の再生が実施された。



パイナップル



マンゴー



イチゴ狩り

2. 地区概要

取組主体	認定農業者	地区名	そけい 惣慶地区
再生面積	0.3ha	取組年次	令和4年2月～令和4年3月
作付作物	ゴーヤー、きゅうり	販路	県内大手スーパー、共同選果等に出荷

3. 取組内容及び効果

Uターン就農者の施設園芸規模拡大に向け県単事業を活用し荒廃農地を再生

- 当該認定農業者は、**平成2年Uターンをきっかけに農業をはじめ、施設園芸によるきゅうり、ゴーヤーの栽培を開始した。**
- 経営の安定化のため、村内で施設園芸の規模拡大を実現し、**更なる規模拡大のため、荒廃農地となったマンゴーハウスを借り受け、県の荒廃農地解消事業により農地を再生した。**
- **村の農業後継者育成センターの指導委員として若手農業者の育成**を行い、自身のハウスを研修の場として若手農業者の見学等を受け入れている。
- 今後も安定的な農業経営と若手就農者の育成に力を入れ、地域を盛り上げていきたい。

活用した支援策 R3 荒廃農地利活用促進事業（県）



再生前



再生後



ゴーヤーの受粉作業



ゴーヤー